



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2022.10.19 No.9

あなたは見習いが終わろうとする時、 不安なく一人で業務に就けますか？

ジョブローテーション施策による異動で新たな業務に就いたり、営業統括センター発足によって他駅の業務に就くことが多くなっています。その職場で新たな業務に就く時には見習いがあります。

乗務員には「見極め」制度がありますが、営業職場では一定の回数の見習いを終えれば自動的に一本になるケースが多いです。「理解度確認」のシートを使用しているところもありますが、理解できていなくても再見習いを避けたくて、項目に「○を付ければ良い（理解できたという意味）」という安易な考え方が広まっています。

また、見習いで本人の理解が不十分なまま一本になり、一本になった直後に事象を起こしてしまうといったことも起きています。

このようなことが起きないために営業職場においても、

- ・一本ありきの勤務を作らずに一本になることが確定するまでは見習者と指導者2名がその勤務に就くように勤務作成をする。
- ・「理解度確認」のシートをきちんと機能させる。（内容によっては○×ではなく、記述式で記入するという選択肢も）（また、指導する側も1名だけでなく複数名でチェックするような方法も）
- ・本人が一本になるのに不安がある場合は、会社は責任をもってその不安が無くなるまで見習いを継続させる。
- ・特に小規模の営業職場では一本になった後でも後フォローをしっかりとできる環境を整備する。

といったことが必要なのではないでしょうか？



不安なく業務に就けるための見習いのあり方を

みんなで考えてみよう。

